

(案)

第3次地域管理経営計画書
第3次国有林野施業実施計画書

(南薩森林計画区)

(第2次変更計画)

計画期間

自 平成21年4月 1日
至 平成26年3月31日

(平成24年3月変更)

九州森林管理局

(案)

第3次地域管理経営計画書

(南薩森林計画区)

(第2次変更計画)

計画期間

自	平成21年4月	1日
至	平成26年3月	31日

(平成24年3月変更)

九州森林管理局

地域管理経営計画の変更について

[変更理由]

平成23年7月に閣議決定された、森林・林業基本計画及び全国森林計画に基づき、所要の計画量を変更することに加え「地域管理経営計画書、国有林野施業実施計画書及び伐採造林計画簿作成様式について」の一部改正に基づいた変更を行うこととし、国有林野の管理経営に関する法律（昭和26年6月23日法律246号）第6条及び国有林野管理経営規程（平成11年1月21日農林水産省訓令第2号）第6条第8項に基づき、変更するものである。

なお、本変更計画の効力は、平成24年4月1日より生じる。

1. 現行計画（平成21年3月策定、「平成21年9月変更」計画期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日）の変更内容

- (1) 「1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項」の「(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項」を上記理由により変更する。
- (2) 「1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項」の「(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項」の「④その他」を上記理由により追加変更する。

目

次

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項	-----	1
(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項	-----	1
④ その他	-----	1

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項

機能類型に応じた管理経営については、「管理経営の指針」(別冊)によるほか、次の点に留意して、個々の林分の地況、林況等の立地条件に応じて適切に行うこととする。

なお、各機能の発揮を図るために導入する林相の維持・改良等に必要の施業により生じる木材については、有効利用を図る。また、年齢構成の平準化・バイオマス利用等の地域ニーズに応じた主伐を計画的に行うことにより木材の供給を図る。

④ その他

国有林の地域別の森林計画における公益的機能別施業森林と機能類型との関係は下表のとおり。

○ 機能類型と公益的機能別施業森林の関係

機能類型			公益的機能別施業森林			
			水源涵養機能維持増進森林	山地災害防止機能／土壤保全機能維持増進森林	快適環境形成機能維持増進森林	保健機能維持増進森林
水土保全林	国	土砂流出崩壊防備	○	○		
	土	気象災害防備(飛砂、風害、潮害、雪害、霧害等の気象害の防備)	○	○	○	
	保					
	全	生活環境保全(防音や大気浄化による生活環境の保全)	○		○	
タイプ	水源涵養タイプ	○				
森林と人との共生林		自然維持タイプ	○	○		○
		森林空間利用タイプ	○	○		○
資源の循環利用林			○			

(案)

第3次国有林野施業実施計画書

(南薩森林計画区)

(第2次変更計画)

計画期間

自	平成21年4月	1日
至	平成26年3月	31日

(平成24年3月変更)

九州森林管理局

国有林野施業実施計画の変更について

[変更理由]

平成23年7月に閣議決定された、森林・林業基本計画及び全国森林計画に基づき、所要の計画量を変更することに加え「地域管理経営計画書、国有林野施業実施計画書及び伐採造林計画簿作成様式について」の一部改正に基づいた変更を行うこととし、国有林野管理経営規程（平成11年1月21日農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき、変更するものである。

なお、本変更計画の効力は、平成24年4月1日より生じる。

1. 現行計画（平成21年3月策定、「平成21年9月変更」計画期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日）の変更内容

- (1) 「2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量」の「(6) 伐採総量」の「(再掲)市町村別内訳」を上記理由により追加変更する。

目 次

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量 ……	1
（6）伐採総量 ……	1

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(6) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林			地		林地以外	合計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	—	31,449 (373)	31,449	653	157,400	157,400	
	水源かん養タイプ	スギ・ヒノキ普通伐期	—	44,085				44,085
		スギ長伐期	—	13,792				13,792
		ヒノキ長伐期	—	66,160				66,160
		天然林広葉樹	1,261	—				1,261
		小 計	1,261	124,037 (1,486)				125,298
計	1,261	155,486 (1,860)	156,747					
森林と人との共生林	自然維持タイプ	—	— (—)	—				
	森林空間利用タイプ	—	— (—)	—				
	計	—	— (—)	—				
資源の循環利用林	スギ中径材	25,696	3,446	29,142				
	ヒノキ中径材	79,466	23,120	102,586				
	アカマツ中径材	6,386	—	6,386				
	天然林広葉樹	494	—	494				
	計	112,042	26,566 (237)	138,608				8,992
合 計		113,303	182,052 (2,097)	295,355	9,645	305,000	305,000	
年 平 均		22,661	36,410 (419)	59,071	1,929	61,000	61,000	

注 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
鹿児島市	34,333	94,731	129,064				
指宿市	4,426	—	4,426				
日置市	30,189	34,593	64,782				
いちき串木野市	28,826	19,908	48,734				
南九州市	15,529	32,820	48,349				

注 臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。